



KSKQ どかどか No.286

ぽぽんがぽん news

笑顔あふれ つながりあえる社会へ
 ~ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために~



いっしょに考える。 いっしょに行く。

何、この言葉?と思われたかと思ます。

2021年度はホームページのリニューアルとブランディングに取り組みます。新型コロナウイルスによって人のつながりが変わり、地域や社会が変わり始めているからこそ、法人の存在意義や支援を問い直しながら、前向きに発信していくことを大切にしたいと考えています。表題の言葉は、ブランディングを進めていく中で掲げていく合言葉です。ブランディングとは、これまで法人で大切にしてきたことや、実践してきたことを、同じ自線で同じ言葉で語り合うことにより、法人組織として一体感を高め、対外的にも存在意義をしっかりと明示していくことを目指すものです。(噛み砕くと、「ぽぽんがぽん」と言えば「〇〇」といった連想ゲームを皆でやっていくような取り組み)

とてもシンプルな言葉ですが、柔らかくでいて核心的だと気に入っています。障害者運動で掲げられる「Nothing about us, without us.」(私たち抜きに私たちのことを決めないで)にも通じる言葉です。し、職員、利用者、利用者家族、関係機関、地域の方々など、それぞれと一緒に考えたり、一緒に行動することなしには、ノーマライゼーションやインクルーシブな社会を実現していくことは出来ないと思います。これから随所で使用していきますので、みなさんも知っておいていただくと幸いです。

さて、1月号でもお伝えしましたが、「afterコロナ」を待つよりも、コロナ禍を越えていくイメージとして「overコロナ」であるように、2021年度も、「いっしょに考える。いっしょに行く。」を基本に据えながら取り組んでいきましょう。

(事務局 長 水野昌和)

～ 目次 ～

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 いっしょに考える。いっしょに行く。 | 6 ろくちゃんまちをゆく |
| 2 相談支援体制について | 7 後援会より/アルミ缶等回収お礼 |
| 3 きょうのNANIKA | 8 編集後記 |
| 4~5 各場から/スタッフ紹介 | |

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行



ちくほけんふくし 地区保健福祉センターについて

そうなんしえんぶもん やまもとたいが
相談支援部門 山本大雅

いばらきし そうなんしえんたいせい おおきなうごき ちくほけんふくし かんするじょうほう げんこう
茨木市の相談支援体制の大きな動きとなる、地区保健福祉センターに関する情報について、この原稿を
書いて 2月末時点での情報をお伝えさせていただきます。

令和3年度に茨木市にて「茨木市東地区保健福祉センター」が設置されます。

おも けいか
主な経過といたしましては平成30年度3月に策定された茨木市総合保健福祉計画の中に包括的相談支援
体制整備のため、(仮称)地区保健福祉センターの設置が計画されました。そして令和元年度に庁内専門職によ
る保健機能のワーキング、支援困難事例の実態把握と解決策の検討を行い、令和元年12月に「令和3年4月に1
か所開所し、モデル実施することが決定し、そのモデル実施圏域が東圏域(三島・庄栄)に決まりました。

地区保健福祉センターには市職員として保健師、専門職としてC S W、障害、包括の委託を受けている
機関、地域の担当として社会福祉協議会・生活支援コーディネーターが配置されます。

ちくほけんふくし 地区保健福祉センターについて

《市の方向性》: ぜんせだいぜんたいしやうたいあうがたち きほうかつしえんたいせい こうちく
全世代全対象対応型地域包括支援体制の構築
予防(保健)と福祉の連携

【目標】

そうごうほけんふくしけいかく(だい2じ)の計画期間である、令和5年度までに地区保健福祉センター5か所を設置する。
(市内を5圏域に分け、各圏域に1つ地区保健福祉センターを設置)

【センターの機能】

- ① 専門職による包括的なチーム支援
- ② 健康寿命の延伸と健康格差の解消
- ③ 子どもから高齢者、障害者などすべての人が安心して暮らし続けることが出来る地域共生社会の実現

ぼぽんがぼんとして

地区保健福祉センター(ぼぽんがぼんの委託を受けている圏域は令和5年設置予定)には障害以外の福祉
分野、また医療分野となる保健師が配置されます。一つ屋根の下で各分野が連携を高め、市民の方の困りをワン
ストップに受け止められる窓口として機能すれば、良いものになるのではないかと考えています。

ただ、気を付けなければいけないのは、障害の支援は「社会モデル」の視点でおこなっているものであり、他の
分野、特に医療分野での「医学モデル」とは異なります。多分野が集合する中で、「社会モデル」の視点が埋没して
いけないように、各分野の担当者へ啓発し、理解を求めていかなければなりません。

また当事者が直接市役所に行かなくて良い状況となり、当事者のニーズや困り、地域課題が市職員が肌感覚
で体感する機会が少なくなります。声が届きにくくなることで、当事者のニーズや困りに対して画一的な対応で
あったり、地域課題が市の施策に上手く反映されないといった状況にならないように、ぼぽんがぼんとして
当事者の声を確実に届けていかなければならないと思っています。

令和3年の4月に初めてモデル的に実施されますので、今後よりよい地区保健福祉センターとなるように、ぼ
ぽんがぼんとしても、積極的に連携、協力を進めたいと思っています。



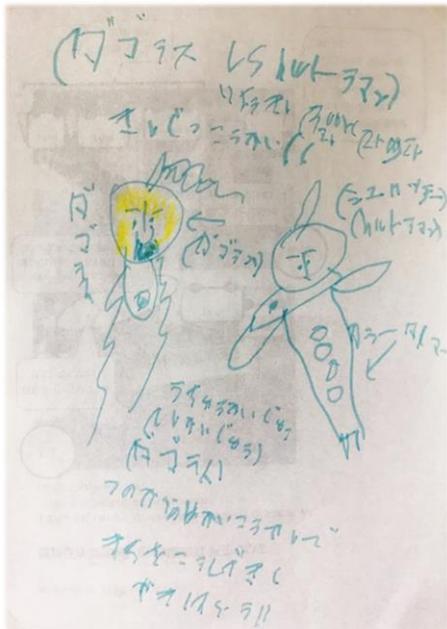
きょうのNANIKA

002

生活介護事業所ぽかぽか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、
そして一緒に考えられたら良いなと思います。

STORY 1 【AさんのNANIKA】

※インタビュー：山根（電話）



Aさん、どかどかの壁に貼ってくれているイラスト、次の通信に載せたいんですけど、あとちょっと内容について聞きたいんですけどいいですか？

あーいいよ是非載せてくださいありがとうございます。

前見せてもらったとき、これ右側ウルトラマンやったと思うけど、もう一人は何でしたっけ？

これダゴラス、怪獣ね。もう尾崎さんに代わっていい？

ちょちょちょ…上の方にあるのは、近日公開？300円？

それはシャレで書いたんですよ。

なるほどーありがとうございます。

また見に来てくださいね。

STORY 2 【竹内さんのNANIKA】

※インタビュー：尾崎



これは何ですか？

おに 鬼は～外、福は～内♪

赤鬼？青鬼？

赤鬼

この4人は、家族？友達？

家族、お兄ちゃん2人と 弟2人。

作ってどうでした？

楽しかった！がんばった。

作ってどうでした？

クリスマス！余裕～ポニョ！

どこを一番がんばった？

がんばった！

クリスマスは楽しかった？

クリスマス、楽しかった！



（題字：林裕之さん 文：山根康純）



各場から ヘルパー派遣部門



こんにちは。今回通信のスペースを頂いたので、ヘルパー派遣の取り組みについて紹介させていただきます。いきなりですが、皆さんはヘルパー派遣というどんなイメージを持っていますか？利用者さんとお出かけしたり、お出かけの調整をしたり。利用者さんが生活で困らないよう、ヘルパーさんと集まって会議をしている—それもそうですね。

その他にもヘルパー派遣が取り組んでいることがあります。いま

みなで考えているのは、防災についてです。

2018年の大阪北部地震や西日本豪雨は皆さんの記憶に新しいと思います。

皆さんも、まさか自分が被災者になるとは思わなかったのではないのでしょうか？地球規模の環境変化に伴い、今後もっと日本各地で自然災害は増えていくとされています。私たち自身、今後大規模な災害に巻き込まれる可能性もあり、もはや日本にいる限り、災害はどこで起こってもおかしくはない、まさに他人事ではなくなっていると思います。

というか、私たちは今現在進行形で、コロナウイルスという感染症の災害に巻き込まれているところですよ。

いまヘルパー派遣として対策を考えているのは、地震や台風、水害といった自然災害ですが、これらの災害時、特に困るのは、障がいを持っている方たちだと思います。どこに逃げたら良いのか、どれくらいの期間避難すればいいのか。様々な理由で情報を受け取ることが難しく、環境

の変化が苦手な知的障がいのある人にとって、通常の被災者よりも戸惑う事が多くなるのは、想像に難くないと思います。

避難できたとして、障がいを理解してもらえるのか、それぞれの障がい特性に配慮した環境はどこまで整えられるのか。災害の規模や内容によって状況は違うだろうし、そもそも受け入れてくれる場所はあるの？少し思い浮かべるだけでも課題は多く、いくら考えても心配は尽きないと思います。



どこから手をつければいいのかわからないくらい難しい問題ではありますが、まずは自立生活をされている方の生活を守るため、事業所として少しずつでも考えていく必要がある事だと思っています。

そのため、昨年の6月からコーディネーターが月に一度集まって、会議を開いて災害に備えようとしています。具体的には災害用の避難グッズや備蓄食料を揃えたり、災害時計画の作り方の動画を見て勉強したり、消防署の方に来てもらって緊急救命の方法について教わったりしています。(写真は心臓マッサージの研修をしている時のものです)自立生活をされている方のお家に、緊急対応の簡易なマニュアルや、病院ですぐに伝えられる利用者さんの情報提供シート(生年月日や障がい、服薬や持病について記入したもの)を設置



しているのも取り組みの一つです。

いずれは利用者さんと避難訓練をしたり、一緒に避難経路の確認もできたらいいな、と思っています。

会議をする事で、スタッフからアイデアが出てきたり、専門家の方にお話を伺う事で勉強になる事もとても多く、ただ漠然と不安を募らせるのではなく、普段からああでもないこうでもないみんなできいろいろと話し合っておく事が大事だな、と感じています。

皆さんからも、災害の時、こんな心配があるとか、これも役に立つよ、というご意見やアドバイスがあれば、ぜひ聞かせて頂きたいと思っています。

いざという時、慌てず、いつ災害が起きたとしても、落ち着いて行動できるように、これからもヘルパー派遣では防災について継続して考えていきたいと思っています。



(田井英一郎)



みなさん、こんにちは。ヘルパー派遣部門の加登です。

コロナという未知のウイルスに、これまでの生活を乱され、我慢・我慢の毎日。。

残念ながら、まだ当分続きそうですね。

本当に、こんな日々を送ることになるとは、これっぽっちも思っていませんでした。

大勢でワイワイするのが好きなので、人と会えないこと、人と話をする機会が少なくなるのは、とってもストレスフル。

テレビで、ストレスのセルフケアについての情報を見ました。セルフケアの方法は、「活動型」「リラックス型」「発散型」「会話型」の4つに分類されるそうです。説明さ

れていた心療内科の先生は、自分に合った方法で、多ければ多いほどよく(できれば30個くらい)、その日の気分や状況によって行っていくのがよいと言われていました。自分自身を振り返ってみたところ…

- ①音楽を聴く(たまに歌ってみたり、踊ってみたり) ②ドラマ・映画を見る(ドラマの一気見で翌日後悔する

こともしばしば。休みの日はディズニーデーを作って、これまで見てなかった古い映画やシリーズものを順番に見たりしています。) ③妹と長電話

(彼女はあったことを全て細かく伝えたい人なので、毎回2時間以上しゃべってます) ④スマホでゲーム ⑤ネットで美味しいものをお取り寄せ

⑥普段作らない料理を作ってみる ⑦たまに部屋の模様替え…たったの7個しかない。通信が届くころは、コロナの状況も変わって、⑧飲み会 ⑨カラオケ ⑩旅行が復活したらいいな。

一日も早く、安心できる世の中に戻ればいいなと願いつつ、それまで自分が元気で入れるよう、工夫していきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

(加登めぐみ)





ろくちゃんまちをゆく NO.98

今回のろくちゃんまちに行くでは、コロナ禍の中でまちに出かけてない、また、活動もできていないと思いつながら、何を書くべきか悩んでいましたが、コロナ禍の状況を書かせてもらいます。

昨年1月くらいからコロナのことで報道が大きくなり、東京中心に流行して、芸能人の方も含めて、大勢の方が、亡くなられ、とても悲しいニュースです。心よりお悔やみ申し上げます。

私の環境も大きく変化しました。私の身体が、元々、呼吸する力が弱く風邪やインフルエンザには気をつけてほしいと主治医に言われていました。今回のコロナウイルスの特徴の一つで肺疾患の方は感染すると重篤化する恐れがあるようですが、肺疾患はないが、呼吸する力が弱く夜間、呼吸器を7月からつけることになりました。入院してすぐに呼吸をつける練習をして2週間くらいで退院することができました。担当のドクターの話では呼吸器をつけても、コロナに感染し肺炎になると重篤化になる恐れもあると言われ、特に1月、2月は過去にインフルエンザに感染していたことがあり、予防することにしました。



ぼぱんがぼんの事務所で三密を避けるため座席を移動しての対応、また、在宅ワークも導入しました。



オンラインでセミナーや会議の参加をしており、電車での移動では、電車との乗り継ぎや通勤ラッシュ時には満員で乗れなかったりして時間がかかりすぎ、その影響で参加できなかったセミナーや会議に参加できるのは良いと思います。

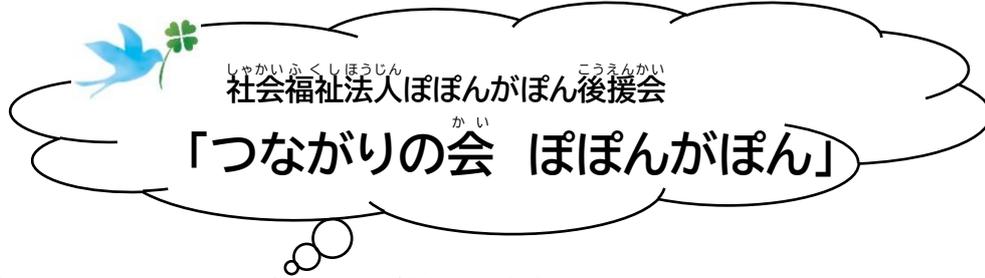
しかし、目的地まで公共交通機関を利用して行く過程の中でのおきる出来事で駅員さん、お店の方、地域の方とのやりとりで私のことを知ってもらう事が大事だけでも、経験をできないことは物足りなさを

感じています。

生活の面では、毎月一回、呼吸器の通院で、移動時間・検査時間・待ち時間・診察時間を合わせて、早くても4時間、遅くても5時間はかかっており、帰宅したときは、まあまあ疲れています。しかし、今年の2月の通院では、電話診療でよくなり、診療日に主治医から電話がかかってきて身体の状況を聞かれて5分くらいで終わりました。身体が落ち着いているから出来ることだとしても、いつもとは違う対応で、これで良いのかなと問いかけてしまいます。



今回、感じたことは、外に出歩くことは、色々な経験と出会いがあり、大事だと改めて思いました。それとコロナで、新しい生活スタイルで在宅ワーク、オンラインでの授業、お店のテイクアウトは、利用しやすい方もおり、世の中ではコロナが落ち着いたら通常通りの生活に戻るときに新たな生活スタイルも残してもらい、どちらでも選べる社会にしてほしいと思います。色々とお書かせてもらいましたが、早くコロナが落ち着くことを願っています。(六條友聡)



しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人ぽぽんがぽん こうえんかい 後援会

「つながりの会 ぽぽんがぽん」



おもい 思いもかけないコロナ禍による一年・・・、三密をさけ、ソーシャルディスタンス
 たもち 自粛の日々・・・。様々な活動は休止になり、会議もリモートに。新しい生活様式には中々慣れるのは
 むずかしく、見えないストレスも徐々に増えすっきりしない気分のまま新年度を迎えています。当事者の皆さんに
 は移動支援事業や作業所の一時利用見合わせ等、色々のご協力をいただくことが多かった申し訳ない一年
 になってしまいました。交流会、忘年会他・・・で一緒に過ごす時間を楽しみにしていただいていたのに、すべ
 て休止で皆に会うことすら出来ない日々も続き、メンバーさんからは「ヘルパー
 さんとの外出もなくなりさびしい」「みんなと話がしたい」という声も聞こえてき
 ました。安心して過ごせる生活が一日も早く訪れることを願いながら、今年度
 後援会としてどんな活動や支援ができるのか・・・、考えていきたいと思えます。
 (村上和子)



ご寄付ご協力ありがとうございます！

ご寄付等のお礼 2020年12月1日～2021年1月31日まで(順不同)

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は次号にて掲載させていただきます。

● 社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ご協力ありがとうございました。

鎮山様 古川様 川崎様 鶴飼様 冨井様 新井様 匿名の皆様

● つながりの会ぽぽんがぽん(後援会)へのご寄付ご協力、ありがとうございます。

【募金箱のご協力(回収)】吉永様 埴淵様 パン工房シャルドン様 ファミリーマート舟木町店様
ファミリーマート並木町店様

● アルミ缶・牛乳パック提供ありがとうございました。

【アルミ缶】ハロハロ様 舟橋様 浅野様 谷口様 作業所へ持参して下さった皆様
【牛乳パック】萬谷様 村上様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様
菜の花障害者相談支援センター様 作業所へ持参して下さった皆様



● ぽかぽかへ熊本県天草産のぽんかんをご提供ありがとうございました。

松野尾様

| | |
|--|--|
| <p>社会福祉法人ぽぽんがぽんへご寄付をご希望される方は、ゆうちょ銀行へお願いします</p> <p><払込取扱票を使用する場合> 口座記号口座番号：00930-0-212299 口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぽん</p> | <p><ゆうちょ銀行以外をご利用する場合> 銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：099 預金種目：当座 店名：〇九九(ゼ 味1ウ1ウ) 口座番号：0212299 口座名称(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぽん 口座名称(カナ)：フク)ポポンガポン</p> |
|--|--|

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございました。



編集後記

この間、ぼぼんがぼんにおいても、新型コロナウイルスに感染された方や濃厚接触者となられた方がおられ、ご本人および、関係する方々大変な思いをされている状況がある。

また私たち「障がい者支援事業所」は、職員や利用者に微熱があっただけでもPCR検査を受けてもらい、発症から2日さかのぼって接触者を洗い出し、万が一陽性であった場合の想定を行う必要があり、気の休まらない日々が続いている。

東日本大震災から10年経って、震度6強の地震が、その余震であるという話しからも、地球規模では10年という月日は一瞬のことなのだという。

感染症が社会を大きく変えてきた人類の歴史を見れば、今大きな変革期で、元に戻ることができないなら、未来を想いわくわくしながら取り組みたいと思う。

日本で世界で多くの方が(コロナに限らず)苦しんでいる状況でお気楽だと叱られるかもしれないが、こんな時だからこそ平和な地球を夢想している。

しかし、リモート飲み会などはどうも馴染めない。今後バーチャルリアリティの技術等が進むのはよいが、やはり安心して飲める社会、安心して移動できる社会、安心して集まれる社会を、環境としてつくっていかねばと思う。

おたごろう
(太田吾郎)

【 社会福祉法人ぼぼんがぼん 各場連絡先 】

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援、移動送迎
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
- 法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
- グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
- 移動送迎 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
- ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
- 相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぼかぼか」 (8:30~17:30)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」 (8:30~17:30)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市立障害者就労支援センター かしの木園 (8:45~17:15)
〒567-0031 茨木市春日 1-15-22 Tel 072-626-5910 Fax 072-626-5912
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 TEL (072) 623-9202 (お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前1-4-14 エステート茨木駅前3F 社会福祉法人ぼぼんがぼん (法人本部)

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価：50円